

日光川 洪水浸水 想定区域図 (想定最大規模)

0 100 200 400 600 800 1,000 m

凡例

	村指定避難所		津波時使用可能
	協定を結んだ津波一時避難所		自主避難所
	福祉避難所		土のうステーション設置あり
	医療救護所		飛島村役場
	風水害時使用可能		交番
	地震時使用可能		消防署

	市町村界		浸水深 3.0-5.0m
	緊急輸送路		浸水深 0.5-3.0m
	避難路		浸水深 0.5m未満
	用水路		
	封鎖が予想される地下通路		

※想定破壊箇所ごと(200m)にシミュレーションした浸水深の中から、最も深い浸水深を图示しています。

周辺の洪水浸水想定区域

周辺の洪水浸水想定区域(日光川)に関する情報はこちら

浸水深 深さの目安

5m以上	下記以上
5m	2階の天井下まで浸かる程度
3m	2階の床下まで浸かる程度
0.5m	1階の床下まで浸かる程度

無着色の箇所について

洪水浸水想定区域図は、支川からの氾濫やシミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。そのため無着色の箇所でも浸水の危険性があります。

徒歩10分で移動できる距離(目安)

健康者 約600m
要配慮者 約300m

台風や集中豪雨など、災害が発生するおそれが高まった場合、飛島村から情報が発表され、事前の避難が必要となります。健康者と高齢者等の要配慮者では、避難の移動速度に差があるため、目安を参考に、避難所など安全な場所までの所要時間を確認しましょう。

総務省 津波避難対策推進マニュアル検討会報告書 平成25年

土のうステーション

大雨による冠水・浸水等の被害を未然に防ぐために、住民自らが土のうを運んで設置できるように土のうが備蓄されている場所です。

※使用した後は総務課(0567-97-3461)までご連絡をお願いします。

木曾川 洪水浸水 想定区域図 (想定最大規模)

0 100 200 400 600 800 1,000 m

村指定避難所

災害の危険があり避難した住民が、一定期間滞在することを想定した施設

名称	電話番号	所在地	風水害	地震	津波	避難所	自主	土のう
1 飛島学園	0567-52-4001	大字松之郷三丁目21番地	●	●	●	●	●	●
2 総合体育館	0567-52-3351	竹之郷三丁目1番地	●	●	●	●	●	●
3 中央公民館	0567-52-3351	竹之郷三丁目1番地	●	●	●	●	●	●
4 南拠点避難所	0567-55-1028	竹之郷二丁目47番地	●	●	●	●	●	●
5 北拠点避難所	0567-52-1011	元起一丁目85番地	●	●	●	●	●	●
6 三福一時避難所	0567-52-1710	大字三福二丁目34番地の2	●	●	●	●	●	●
7 大宝一時避難所	0567-52-0731	大宝一丁目79番地の3	●	●	●	●	●	●
8 新政成一時避難所	0567-55-1901	大字新政成四丁目31番地の1	●	●	●	●	●	●
9 服岡一時避難所	0567-52-1529	大字服岡八丁目74番地の1	●	●	●	●	●	●
10 敬老センター	0567-52-3185	竹之郷五丁目43番地	●	●	●	●	●	●
11 第一保育所	0567-55-0315	大字古政成六丁目1番地	●	●	●	●	●	●
12 公民館分館	0567-55-1071	木場二丁目3番地	●	●	●	●	●	●
13 梅之郷一時避難所	-	大字梅之郷字中梅88番地の2	●	●	●	●	●	●

※梅之郷一時避難所は令和3年度完成予定

周辺の洪水浸水想定区域

周辺の洪水浸水想定区域(木曾川)に関する情報はこちら

福祉避難所

高齢者、障がい者等の要配慮者を滞在させるために必要な設備・物資を備えた避難所

名称	電話番号	所在地
1 やすらぎの里	0567-52-1800	大宝八島113番地の1
2 ヴィラとびしま	0567-52-2290	服岡四丁目1番地の1

医療救護所

災害時の応急手当を中心とした医療救護活動を行う施設

名称	電話番号	所在地
1 すこやかセンター	0567-52-1001	大字松之郷三丁目46番地の1

自動車による避難と浸水深

浸水深が高くなると、歩行や自転車による避難に支障をきたします。特に、浸水深が0.5m以上になると、車が浮き、また、パワーウィンドウ付きの車では車の中に閉じ込められてしまい、車と共に流され危険な状態となります。

0.3-0.5m	エンジンが停止し、車から退出を図らなければならない。
0.1-0.3m	ブレーキ性能が低下し、安全な場所へ移動させる必要がある。
0-0.1m	走行に閉じ、問題はない。

国土交通省水管理・国土保全局河川環境課水防企画室 水害ハザードマップ作成の手引き 平成28年

避難と浸水深

【実例】
関川水害(平成7年)時には、浸水深が膝の高さ(0.5m)以上になると、ほとんどの人が避難困難であった。

【避難が困難な人の割合】

国土交通省水管理・国土保全局河川環境課水防企画室 水害ハザードマップ作成の手引き 平成28年

【木曾川洪水浸水想定区域図について】

- 木曾川水系木曾川の洪水予測区域について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨(2日間総降雨527mm)による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- 木曾川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により木曾川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。シミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
- シミュレーションは、日光川の洪水予測区域において実施しているため、区間外、その他の支川による氾濫等を考慮していません。

国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所・木曾川下流河川事務所 木曾川水系木曾川洪水浸水想定区域図(想定最大規模) 令和2年